

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 中広

コード番号 2139 URL <http://www.chuco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 一俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 中島 永次

TEL 058-247-2511

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,114	5.8	182	15.9	185	18.1	114	29.8
26年3月期第2四半期	2,944	—	157	—	156	—	87	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 117百万円 (32.9%) 26年3月期第2四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	17.47	17.02
26年3月期第2四半期	13.56	13.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,783	1,115	40.1
26年3月期	2,785	1,027	36.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,115百万円 26年3月期 1,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	5.1	520	19.5	520	17.7	320	16.1	49.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,812,000 株	26年3月期	6,754,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	243,864 株	26年3月期	243,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,525,994 株	26年3月期2Q	6,479,607 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの回復が鈍く、さらに急激な円安による原油・原材料の高騰により、弱含みの状況となっております。

このような状況下、当社グループにおきましては、主力のフリーマガジンを中心に、業容の拡大に努めてまいりました。

その結果、広告の受注は順調に伸び、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は3,114,432千円(前年同期比5.8%増)、売上総利益は1,383,934千円(前年同期比12.2%増)となりました。

利益面では、営業利益は182,534千円(前年同期比15.9%増)、経常利益は185,210千円(前年同期比18.1%増)、四半期純利益は114,032千円(前年同期比29.8%増)となりました。

a. メディア事業

メディア事業のフリーマガジンでは、平成26年3月に名古屋市内全域を配布エリアとしたことにより、名古屋市内における広告受注を順調に伸ばしました。また当社グループ事業の全国展開としてVC(※)契約を推進し、当第2四半期連結累計期間において、フリーマガジンで3社、イベント・セミナー事業で1社と契約を締結いたしました。

これらの結果、メディア事業の売上高は1,809,044千円(前年同期比10.8%増)となりました。

なお、平成26年9月末現在、当社が発行するフリーマガジンは47誌、発行部数277万部となり、VC契約による発行も合わせますと67誌、総発行部数385万部となりました。

また、当社が運営いたします地域みっちゃく生活情報総合ポータルサイト『フリモ』(furimo.jp)の会員数は107,877名、掲載店舗数は20,911件となっております。

※VCとは、複数の仲間が独立性を保ちながら志を共に共同で企画・営業・運営をする組織。

地域社会に貢献するというボランティア精神(Volunteer Spirit)と事業成熟(Win Victory)を目指します。

b. 広告SP事業

広告SP事業では、消費税増税前の駆け込み需要の反動からの回復が鈍いことの影響もあり、売上高は1,305,388千円(前年同期比0.5%減)となり、前年同期と比較して微減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて2,847千円減少し、2,783,033千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が40,784千円増加したものの、現金及び預金が49,614千円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて90,381千円減少し、1,667,723千円となりました。これは主に賞与引当金が21,250千円増加したものの、長期借入金が59,166千円及び未払法人税等が41,672千円減少したこと等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べて87,534千円増加し、1,115,310千円となりました。これは主に利益剰余金が74,971千円、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,350千円増加したこと等によるものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は40.1%であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の「平成27年3月期の連結業績予想」に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,003	623,389
受取手形及び売掛金	724,341	765,125
商品	4,649	6,759
仕掛品	19,878	11,745
貯蔵品	729	729
繰延税金資産	31,867	38,312
その他	67,773	78,217
貸倒引当金	△6,970	△7,360
流動資産合計	1,515,273	1,516,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	255,790	254,403
土地	695,382	695,382
建設仮勘定	607	-
その他(純額)	81,389	71,376
有形固定資産合計	1,033,169	1,021,161
無形固定資産	44,273	40,896
投資その他の資産		
投資有価証券	59,317	64,405
差入保証金	154,438	158,806
その他	29,802	30,250
貸倒引当金	△50,393	△49,406
投資その他の資産合計	193,164	204,056
固定資産合計	1,270,607	1,266,114
資産合計	2,785,880	2,783,033

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	540,847	508,361
短期借入金	272,000	282,000
1年内返済予定の長期借入金	118,332	118,332
未払金	51,601	38,652
未払費用	58,183	64,371
未払法人税等	125,347	83,675
預り金	23,363	25,766
賞与引当金	52,749	74,000
その他	75,666	105,600
流動負債合計	1,318,091	1,300,759
固定負債		
長期借入金	356,845	297,679
リース債務	70,630	57,317
その他	12,537	11,967
固定負債合計	440,012	366,964
負債合計	1,758,104	1,667,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,550	386,900
資本剰余金	73,050	77,400
利益剰余金	581,600	656,571
自己株式	△15,753	△15,753
株主資本合計	1,021,446	1,105,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,329	10,192
その他の包括利益累計額合計	6,329	10,192
純資産合計	1,027,776	1,115,310
負債純資産合計	2,785,880	2,783,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,944,446	3,114,432
売上原価	1,711,233	1,730,498
売上総利益	1,233,213	1,383,934
販売費及び一般管理費	1,075,678	1,201,399
営業利益	157,534	182,534
営業外収益		
受取利息	459	488
受取配当金	495	523
受取賃貸料	6,069	6,419
その他	2,083	2,817
営業外収益合計	9,108	10,248
営業外費用		
支払利息	4,246	3,336
支払手数料	2,032	1,460
車両事故損失	2,349	2,775
その他	1,237	-
営業外費用合計	9,865	7,573
経常利益	156,776	185,210
特別利益		
固定資産売却益	89	-
投資有価証券売却益	244	-
段階取得に係る差益	1,950	-
負ののれん発生益	1,045	-
特別利益合計	3,329	-
特別損失		
固定資産除却損	7,122	-
投資有価証券評価損	-	1
投資有価証券売却損	-	13
減損損失	458	-
特別損失合計	7,580	15
税金等調整前四半期純利益	152,525	185,195
法人税、住民税及び事業税	72,556	77,695
法人税等調整額	△7,905	△6,532
法人税等合計	64,650	71,163
少数株主損益調整前四半期純利益	87,875	114,032
四半期純利益	87,875	114,032

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,875	114,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	851	3,861
その他の包括利益合計	851	3,861
四半期包括利益	88,726	117,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,726	117,893
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	152,525	185,195
減価償却費	16,776	21,716
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,143	△595
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,650	21,250
受取利息及び受取配当金	△954	△1,012
支払利息	4,246	3,336
固定資産除却損	7,122	-
段階取得に係る差益	△1,950	-
負ののれん発生益	△1,045	-
売上債権の増減額(△は増加)	△89,589	△41,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,115	6,022
仕入債務の増減額(△は減少)	△90,544	△37,271
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△1,874	153
その他	△20,914	19,866
小計	△11,581	176,909
利息及び配当金の受取額	491	952
利息の支払額	△4,498	△3,292
法人税等の支払額	△90,035	△118,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,623	55,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△72,117	△134,500
定期預金の払戻による収入	105,479	122,400
有形固定資産の取得による支出	△26,698	△5,786
有形固定資産の売却による収入	150	-
無形固定資産の取得による支出	△150	△545
差入保証金の差入による支出	△2,113	△6,557
差入保証金の回収による収入	1,035	895
投資有価証券の取得による支出	△120	△119
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	23,197	-
その他	-	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,663	△24,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	10,000
長期借入れによる収入	150,000	-
長期借入金の返済による支出	△84,939	△59,166
リース債務の返済による支出	△9,422	△13,952
配当金の支払額	△32,101	△38,848
株式の発行による収入	2,400	8,700
自己株式の取得による支出	△20	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,083	△93,266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81,044	△61,765
現金及び現金同等物の期首残高	183,866	214,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,822	152,863

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	広告SP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,632,127	1,312,319	2,944,446	—	2,944,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,632,127	1,312,319	2,944,446	—	2,944,446
セグメント利益	219,545	160,041	379,587	△222,053	157,534

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益として、株式会社エルアドの発行済株式の全てを取得し、同社を連結子会社としたことによる1,045千円を計上しております。

なお当該負ののれん発生益は、各報告セグメントに配分していない全社の特別利益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	広告SP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,809,044	1,305,388	3,114,432	—	3,114,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,809,044	1,305,388	3,114,432	—	3,114,432
セグメント利益	246,445	182,695	429,141	△246,606	182,534

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。